

1 研究の概要

(1) 研究主題

新学習指導要領の趣旨を踏まえた小学校算数科の授業の質的改善

(2) 研究の目標

新学習指導要領の趣旨を踏まえて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた小学校算数科の授業の質的改善を図るまでの道筋を明らかにし、授業を見直し質的改善につなげるための方法を提案する。

(3) 研究方法

- ア 小学校算数科で身に付けさせたい資質・能力や見方・考え方に関する理論研究及び実態調査
- イ 理論研究および実態調査を踏まえた授業改善の視点と手立ての策定
- ウ 「主体的・対話的で深い学び」の視点から質的改善を図り、構想した授業の実践
- エ 授業実践を通じた児童の変容の分析・考察
- オ 授業改善の視点と手立ての有効性の検証

(4) 研究内容

- ア 小学校算数科で身に付けさせたい資質・能力や見方・考え方に関する理論研究を行い、児童の実態を調査します。
- イ 理論研究と児童の実態を基に、従来の授業について、「主体的・対話的で深い学び」の視点から見直し、児童の実態に応じた改善の手立てを探ります。
- ウ 従来の授業について、「主体的・対話的で深い学び」の視点で見直しを図り、授業展開案、ワークシート、教材等を作成し、研究委員の所属校で検証授業を行います。
- エ 検証授業及び単元全体を通じた児童の変容を分析・考察し、改善の視点や手立ての効果を検証します。
- オ 授業改善の視点と手立てを一般化し、汎用性のあるものにして、質的改善を図るための方法を明らかにします。

(5) 1 年次の成果と課題

- ア 研究の成果
 - ・算数科で目指す資質・能力を明確にして、今までの授業を振り返ることで、授業の課題や改善点を見だし、授業改善の手立てを取り入れた実践を続けていくことで、研究委員の先生の授業の質的改善を図っていくことができました。
 - ・日々の授業の質的改善を図り、児童に身に付けさせたい資質・能力を育むために、どのような授業をしていかなければならないのかを考えることができました。
- イ 研究の課題
 - ・授業の質的改善を継続することにより、資質・能力がどれくらい身に付いたかを分析するための方法が適切だったのが課題となりました。特に、「知識及び技能」の変容を分析するための方法が明確ではなかったので、分析の方法を考えていく必要があります。
 - ・授業の質的改善を図るまでの道筋を明らかにし、授業振り返りチェックシートの検証・改善を行いながら、更なる質的改善につなげるための方法を考案する必要があります。